

2014年9月11日

## タイでのポリカーボネートジオール製造設備新設を決定

宇部興産株式会社

宇部興産株式会社（社長：竹下道夫）は、世界的なポリカーボネートジオール（PCD）の需要拡大に対応するため、特に成長率の高いアジア市場をターゲットとして、ウベファインケミカルアジア社[UBE Fine Chemicals(Asia) Co.,Ltd.]（社長：Charunya Phichitkul <チャルニア・ピットクン>）にPCD製造設備（3,000t/年）を新設することを決定した。稼動開始は2015年10月の予定。

今回のタイ新設により、生産能力は日本2,000t/年・スペイン6,000t/年・タイ3,000t/年の合計11,000t/年となり、世界最大のPCDメーカーとしてグローバルな供給体制を強化する。

PCDは宇部興産のファインケミカル事業の主力製品のひとつで、主に高級ポリウレタンの主原料（ポリオール成分）として使用されている。PCDを使用したポリウレタンは、従来のポリエステルやポリエーテルを使用したポリウレタンと比較し、耐熱性・耐加水分解性・耐油性・耐候性等の耐久性としての機能が大幅に向上するだけでなく、肌触り等の素材として的高级感も含めて多くの面で優れており近年需要が急拡大している。

用途は幅広く、自動車や家具、建材、電子機器等におけるコーティング、人工皮革、接着剤等の幅広い用途で新たな高機能材料として認知が高まっている。

また、高耐久性として省資源に貢献するのみならず、VOC規制強化等への対応のため、溶剤を含まない環境対応型水性塗料（PUD：水系ポリウレタンディスパージョン）の原料としてのニーズも高まっており、今後も継続的な需要拡大が見込まれている。

宇部興産は、PCDの主原料である1,6ヘキサンジオールと炭酸ジメチル（DMC）を自製しているコスト優位性のみならず、日本・スペイン・タイでのグローバルな技術連携を強化することで、ユーザーニーズに対応した新規グレード開発及びユーザーサポートにも注力する。それらの強みを活かし、世界一のPCDメーカーとしての地位をより強固なものにし、市場の成長を牽引していく。

### 【UBE Fine Chemicals (Asia) Co.,Ltd. の概要】

所在地：タイ・バンコク

事業内容：ジオール製品の製造・販売

設立：2009年6月

資本金：567百万バーツ

出資比率：宇部興産 100%

代表者：Charunya Phichitkul <チャルニア・ピットクン>

以上